

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2, 5-ジメチルアニリンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する
急性毒性試験

試験番号 No. 2007-生74

試験法ガイドライン

本試験は厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環保企発第 031121002 号、平成15年11月21日、平成18年11月20日一部最終改正)に従って実施した。

- | | |
|---------------|---|
| 1) 被験物質 | : 2, 5-ジメチルアニリン |
| 2) 暴露方式 | : 半止水式 (48 時間後に試験溶液の全量を交換) |
| 3) 供試生物 | : ヒメダカ (<i>Oryzias latipes</i>) |
| 4) 暴露期間 | : 96 時間 |
| 5) 試験濃度 (設定値) | : 対照区, 28, 44, 69, 110 mg/L
公比 ; 1.6 |
| 6) 試験溶液量 | : 5 L/容器 |
| 7) 連数 | : 1 容器/試験区 |
| 8) 供試生物数 | : 10 尾/試験区 |
| 9) 試験温度 | : 24±1 °C |
| 10) 照明 | : 室内光、16 時間明/8 時間暗 |
| 11) 給餌 | : 無給餌 |
| 12) 通気 | : なし |
| 13) pH | : 試験溶液の pH 調整は行わなかった |
| 14) 分析法 | : HPLC 法 |

結 果

予備的な検討の結果、被験物質に軽度の揮散性があることが判明したことから、密閉系による試験を採用した。

1) 試験溶液中の被験物質濃度

暴露期間中の被験物質濃度の軽微な変動は、分析誤差によるものと考えられたことから、暴露期間中の平均濃度は算術平均値を採用した。

2) 50 % 死亡濃度 (LC_{50})

24 時間 50 % 死亡濃度 (LC_{50}) : > 110 mg/L

48 時間 50 % 死亡濃度 (LC_{50}) : > 110 mg/L

72 時間 50 % 死亡濃度 (LC_{50}) : > 110 mg/L

96 時間 50 % 死亡濃度 (LC_{50}) : > 110 mg/L